

# 事業承継計画分析資料

## 1. 会社の概要

会社概要

会社名	株式会社A
住所	●●県●●市●●1-1-1
資本金	●●百万円
従業員	●●名
業種	食品加工、販売
事業内容	フリーズドライ食品製造販売

沿革

19xx年	●●市にて先代創業
19xx年	A氏（現経営者）が承継
19xx年	●●市に移転
20xx年	E氏（後継者）入社予定

記入例

親族関係者

氏名	年齢	続柄	備考
A氏	65	本人	代表取締役
B氏	60	妻	取締役(経理担当)
E氏	40	長男	(株)〇〇会社勤務
F氏	35	次男	市役所勤務
G氏	34	長女	〇〇県にて主婦

会社財務状況

項目	金額(千円)	備考
売上高	50,000	
経常利益	5,000	
当期利益	3,000	
総資産	60,000	
純資産	20,000	
借入残高	30,000	

主要株主

株主名	保有株式数(株)	割合	備考
A氏	5,000	50.0%	
B氏	3,000	30.0%	
C氏	1,000	10.0%	
D氏	700	7.0%	
その他2名	300	3.0%	
発行済株式数	10,000	100%	

経営者資産状況等

項目	評価額(円)	備考
自宅土地	55,000,000	自宅・会社土地・会社駐車場
自宅家屋	25,000,000	
現預金	55,000,000	
その他	20,000,000	太陽光設備
その他	50,000,000	一時払い保険等
合計	¥205,000,000	

特記事項  
社長個人の土地に会社事務所あり

## 2. 事業の分析

SWOT分析

自社の強味	自社の弱み(経営課題)
<ul style="list-style-type: none"> <li>製品のロスが少ない</li> <li>衛生管理がしっかりとされている</li> <li>工場内の整理整頓されている</li> <li>チームごとのコミュニケーションが良好</li> <li>納期が遵守されている</li> <li>時間管理が行き届いている</li> </ul> <p>(自社や自社製品・サービスに好影響を与える内部環境の要素)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナリティーがない</li> <li>仕入時の値段交渉が進まない</li> <li>工場内の機械の老朽化</li> <li>人員の確保(特に営業職)</li> <li>売上の伸び悩み</li> </ul> <p>(自社や自社製品・サービスに悪影響を及ぼす内部環境の要素)</p>
事業機会	事業脅威
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍による家庭内消費の増加</li> <li>長期保存が可能(災害時の非常食としてのニーズ)</li> <li>ネット社会(新しい情報の入手が可能)</li> <li>公的機関からの援助(展示会への出店案内・補助金等)</li> <li>コロナ禍による家庭内消費の増加</li> <li>長期保存が可能</li> </ul> <p>(自社や自社製品・サービスに好影響を与える外部環境の要素)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工技術の進化</li> <li>安価業者の出現</li> <li>金融債務の返済開始(コロナ資金)</li> <li>食文化の多様化</li> <li>コロナ禍後の出口戦略</li> </ul> <p>(自社や自社製品・サービスに悪影響を及ぼす外部環境の要素)</p>

## 3. 経営課題の整理

事業承継における経営課題の整理

	課題	解決の担い手	優先度
会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>受託生産への偏り(現在約75%)を是正し、独自製品製販強化による利益率向上。</li> <li>商品開発力強化。</li> <li>独自販売先の新規開拓(含む海外展開)。</li> </ul>	経営者 後継者 営業本部 商品開発部 JETRO	1
経営者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画遂行に向けての事業戦略立案</li> <li>会社・個人の資産分離</li> <li>後継者への経営ノウハウ伝授</li> </ul>	経営者 Aコンサルティング	3
後継者	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営陣とのコミュニケーションを通じて経営ノウハウ習得</li> <li>工場勤務を通じての技術面の理解、習得</li> <li>経営者の経営サポート</li> </ul>	経営者 取締役 部長職	2

## 4. 円滑な事業承継への骨子

後継者育成スケジュール(案)

- 〇年〇月入社手続
- 〇年〇月～〇年〇月(1年間) 〇〇工場勤務(工場長補佐)
- 〇年〇月～〇年〇月(2年間) 営業部門、開発部部門をローテーション
- 〇年〇月 取締役として任用
- 以降、他取締役と共に企業経営に参画し、経営手腕を鍛錬。

経営者の今後の取組スケジュール(案)

- 〇年〇月～〇年〇月(1年間) 会社・個人の資産分離
- 〇年〇月～ 保有株式の暦年贈与開始
- 分散した少数株式の集約

その他スケジュール(案)

- 〇年〇月～〇年〇月(2年間) 新製品開発期間